

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	総合:就労体験(選択)	単位数 6 単位	履修年次 2 年次
目標	(1)体験を通して明確な進路意識や望ましい職業観、勤労観を身につける。 (2)主体的な職業選択能力や適応力を身につけ、将来の進路について真剣に考える。 (3)異世代との交流によりコミュニケーションの大切さを知る。		
使用教材	実習日誌、校内指導冊子 プリント教材		
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	体験、研修、事前・事後学習などを通して、職場で実際に用いられている専門的な知識や技術・技能、社会人としてのマナーなどを理解して行動している。	体験、研修、事前・事後学習などにおいて、状況に応じて自らが取べき行動を考え、適切に判断し、実行することができている。また、体験を振り返り、他者に自らの学びをわかりやすく伝えることができている。	自分の進路や体験先での仕事に関心を持ち、体験、研修、事前・事後学習などに意欲的に取り組むとともに、職場で関わる人々とのコミュニケーションを積極的に行おうとしている。
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、体験先の所見、体験内容、発表およびレポートの内容、日誌の提出状況などを総合的に判断する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	【前期 事前指導】 ・就労体験を受講するにあたっての講話、体験を行うにあたっての留意事項、抱負作文、グループ面接学習など 【前期 就労体験】(4月～9月) ・事業所における体験 ・前期は概ね8回程度、いずれも金曜日 【前期 中間指導】 ・前期末発表に向けた事前準備など	事前指導では、就労体験の目的を確認するとともに、体験するにあたっての心構えやマナーなどを身につける。また、体験を通じて、望ましい職業観や勤労観、異世代と積極的にコミュニケーションを取る態度などを養う。	
2	【前期 就労体験】(継続) 【前期 事後指導】 ・前期就労体験のまとめ、振り返り活動 ・実習発表の準備など ・文化祭発表(壁新聞の展示) 【後期 事前指導】 ・後期体験を行うにあたっての留意事項、抱負作文など 【後期 就労体験】(10月～2月) ・事業所における体験 ・後期は概ね9回程度、いずれも金曜日	事後指導では、前期就労体験の振り返りを行い、改善点などを確認して、後期の体験でより良い行動ができるよう意識を高める。また、後期は前期よりも高い目標、意識を持って体験に取り組もうとする態度を育成する。	
3	【後期 就労体験】(継続) 【後期 事後指導】 ・後期就労体験のまとめ、振り返り活動 ・実習発表の準備など ・体験発表会	事後指導において、後期就労体験ならびに1年間の振り返りをおして、生徒が自分の職業観や勤労観を明確に持ち、将来の進路について真剣に考える態度を養う。また、体験発表会を行うことで表現能力を養うとともに、他の職業についても理解を深め、視野を広げる。	
学習上の留意点	体験先へは自宅から直接出向き、終了後はそのまま帰宅する。		

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目	総合:手話コミュニケーション(選択)	単位数 2 単位	履修年次 3 年次
目標	聴覚障がい者の生活環境、コミュニケーションの方法について理解し、手話の技術を習得する。様々な人と積極的にコミュニケーションをとる態度と能力を身につける。		
使用教材	テキスト(学校で用意したもの)		
評価の観点・評価規準	(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現)	(技能)
	手話に関心をもち、意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度を身につけようとしている。	コミュニケーションに関して自ら思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけ、表現している。	手話に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、実際のコミュニケーションをとる場面で、その成果を的確に活用している。
評価方法	聴覚障がいに関する基礎的・基本的な知識を身につけ、手話の役割、コミュニケーションの重要性を理解している。		
評価方法	評価の観点・評価規準をふまえ、ペーパーテスト、提出物、授業・実習態度、授業に必要なものの準備物がそろっているかなどで総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	・手話のはじまり ・聴覚障がいについて ・手話の実習(指文字・物の形・動きの特徴の表現・自己紹介・家族・名前・趣味・誕生日・仕事などの表し方)	手話がどのように形作られ、発達してきたかなど手話の概要について学習する。体験談を聞いたり、ビデオを見たりすることによって聴覚障がい者の生活について理解する。また、実習を通して、指文字や身近な物、形容詞や気持ち、数字などの単語を手話で表せるようになる。さらに、様々な人と積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を身につける。	
2	・手話の実習(今日はどんな一日だったか、一週間で何をしたか、年間行事・買い物などに関する日常的な会話)	身近な出来事などの簡単な日常会話について、自分が伝えたいことを相手に手話で伝えることができる。また、手話を読み取ってコミュニケーションを取ることができる。	
3	・手話の実習(病院へ行ったとき、現在・過去・未来についてなどの日常会話) 1年間のまとめ	生活していく上で必要な単語を手話で表せるようにする。また、日常会話を行う上で基礎的な手話の技術を習得しコミュニケーションを取ることができる。	
学習上の留意点	毎時間、学んだ手話を選択生の前で発表する。授業中にテストを実施するので、できるだけ欠席しないようにする。		